

## 賛成討論

平野 由里子 議員

議長のお許しをいただきましたので、賛成の立場で討論をしたいと思っております。この修正の追加が入った修正案のほうで賛成の立場ということですが、先ほどもちょっと質疑のところでお話をしてしまいましたけれども、この一文の中に女性のことを明記する、それからあと会議の公開のことを明記する、これに関して賛成の立場でお話いたします。

この会議の公開に関しましては、先ほど井上議員がお話していただいたとおり、いろいろなその検討をいたしました。情報公開条例のほうで何とかできないかと、そして、なるべくならこの審議会で提出されたこの案を尊重できないかということで何度か検討いたしましたけれども、やはりその情報公開条例のほうは、文書を請求に応じて公開する、そういうものに対する規定であって、会議の公開にはちょっと足らなかったと。そして、そこをいじくるためには、中々その上郡全体での審議を待たなくてはいけないということで、時間もかかるということで、これはこちらの修正案のほうに入れるほうがいだろうということになりました。

そして、この情報共有、会議の公開は、先ほど言ったとおり、やはりこれは当たり前のことだというふうな認識は皆さんあると思うんですけれども、でもそれでも中々実現が足りない現状を踏まえれば、これは明文化する必要があると。つまりこれは、自治基本条例がこの協働の町政を目指して制定される、その基盤となるものではないかと思っております。つまり、この条例にこの一文をまるでインフラの整備のように加えていく、これは大事なことではないかと思っております。

それから、女性に関する男女共同参画のことなんですけど、これも先ほどお話ししましたが、本当に当たり前の常識であって、書かなくてもいい日が来るのが一番望ましいことでもあります。実は、明日3月8日というのは国際女性デーという、これは国際的な国連が取り上げている日なんです。わざわざこれを国際的な段階でも未だに取り上げるというのは、やはりまだまだ男女共同参画が足りない部分がある、それを後押しするという、これはもう本当に国際的な流れというか、そういう認識のもとに制定された日です。国際レベルでもそのような現状であるということ踏まえれば、松田が頑張っていると仮に認めたとしてもですね、中々まだ足りない部分があるだろうと私は思います。

そして、先ほど女性が手を挙げないのがいけないんじゃないかと、別に排除しているわけではないというふうな御意見も伺いましたけれども、これは本当にま

だまだ後押しをしなければ、女性は手を挙げることでさえ遠慮してしまうのが事実。エンパワメントという言葉がありますけれども、これまで女性はそのものに手を挙げていいんだよという、そこさえ気がつかなかったという現状がありますので、これを後押しするためにもわざわざ国際女性デーを設けているぐらいです。やはりこの小さな町、松田町であって、やはりそのミニ憲法とされる自治基本条例でありますから、ここに一文、男女共同参画のことを入れ込んで、もう一つプッシュをしていくという姿勢が、それをまた見せることが大事なのではないかと思われま

す。そういったことで、長い歴史でこの女性がいろいろと少しずつ一歩一歩進出をしてきたんだと思うんですけれども、松田においてもその歴史にここできちりと足跡をつけるという意味でも、この女性という、男女共同参画というこの一文をつけ加えさせていただく、ここに私は賛成したいと思っております。

そして、またこの特別委員会の中でも、何度かこの審議会の皆さんの労力を無駄にするのではないかと、とても失礼なことではないかという御意見が何度も何度もありました。本当にそれは皆さん共通で、そのところも非常に気になっていました。それを気になりながら話しました。でも、この審議会の皆さんの労力にきちんと向き合ったという、それが一つの私たちの誠意なんだと思っております。議会は議会として、皆さんが上げてくださった答申に対してきちんと向き合い、そして考えて、そして皆さんの、申し訳ないじゃないかと思いつつも、こういうふうな一文を提案させていただくところ、そこまで何回も回を重ねて結果を出してきた、これが一つの議会の特別委員会側としては、一つの誠意だと思うんです。

もういいよ、それでいいよと言って、ぱっと認めるということもできるかもしれないんですけども、やはりそこはきちんと受け取る、そして向き合う、これが大事だと思います。そして私も、先ほど井上議員がおっしゃったように、この審議会は町長への答申が出た段階でいわば解散というふうなことなので、審議会と相談したかというふうに言われると、審議会とはちょっと相談ができません。できませんでした。けれども、個人的に委員をしていた方もちょっと存じ上げていたので、ちょっと聞いてみましたが、いや、もっとよりよい形にしてもらおうのなら、全然構わないんだというふうなお答えはいただいております。議員は議員として向き合うということで、こうした追加の一文を修正案として出させていただきます。

## 反対討論

鈴木 眞徳 議員

委員会の慎重審議、ご苦労さまでした。1点だけ、さまざまな立場の町民で構成された自治基本条例審議会では、16回にわたる審議を経て条例案を協議しましたが、この内容について、審査特別委員会としては、1条追加せんと結論です。ただ、特別委員会の前には、全員協議会での説明やパブリックコメントによる町民からの意見聴取もあったわけで、議会としては、そこでヒントだけでも投げかけておけば、修正内

容に関して事前に審査で審議会でも審査する時間もとれたのではないのでしょうか。

また、提案された条例に対して、要望事項を付議するだけならともかく、審査特別委員会だけで審議し、決められた1条を条例に追加することとは、町民も参加した原案に対して少々やり過ぎではないかと思いついて、反対討論にさせていただきます。